



SnapCenter Serverのインストール

SnapCenter software

NetApp
November 06, 2025

目次

SnapCenter Serverのインストール	1
WindowsホストへのSnapCenter Serverのインストール	1
インストール中に Windows ホストで有効になる機能	2
LinuxホストへのSnapCenter Serverのインストール	5
インストール中にLinuxホストで有効になる機能	9
SnapCenterを登録する	9
RBAC許可を使用したSnapCenterへのログイン	9
多要素認証（MFA）を使用したSnapCenterへのログイン	11
SnapCenterのデフォルトのGUIセッション タイムアウトの変更	12
SSL 3.0の無効化によるSnapCenter Webサーバの保護	12

SnapCenter Serverのインストール

WindowsホストへのSnapCenter Serverのインストール

SnapCenter Serverインストーラの実行ファイルを使用して、SnapCenter Serverをインストールできます。

必要に応じて、PowerShellコマンドレットを使用して複数のインストール手順や設定手順を実行することもできます。PowerShell 7.4.2 以降を使用する必要があります。



コマンドラインからのSnapCenter Serverのサイレント インストールは、サポートされていません。

開始する前に

- SnapCenter ServerホストにWindowsの最新の更新プログラムが適用されていて、システムの再起動が完了している必要があります。
- SnapCenter ServerをインストールするホストにMySQL Serverがインストールされていないことを確認しておく必要があります。
- Windowsインストーラのデバッグを有効にしておく必要があります。

有効化の詳細については、MicrosoftのWebサイトを参照してください。 "[Windowsインストーラのログ](#)"。



Microsoft Exchange Server、Active Directory、またはドメイン ネーム サーバが配置されたホストには、SnapCenter Serverをインストールしないでください。

手順

1. SnapCenter Serverのインストールパッケージを以下からダウンロードします。 "[NetAppサポート サイト](#)"。
2. ダウンロードした.exeファイルをダブルクリックして、SnapCenter Serverのインストールを開始します。

インストールを開始すると、すべての事前確認が実行されます。最小要件を満たしていない場合は、対応するエラーまたは警告メッセージが表示されます。

警告メッセージは無視してインストールを続行できますが、エラーは修正する必要があります。

3. SnapCenter Serverのインストールに必要な入力済みの値を確認し、必要に応じて変更します。

MySQL Serverリポジトリ データベースのパスワードを指定する必要はありません。SnapCenter Serverのインストール時には、パスワードが自動生成されます。



特殊文字「%」 is not supported in the custom path for the repository database. If you include ``%`` in the path, the installation fails.

4. *今すぐインストール*をクリックします。

無効な値を指定すると、対応するエラー メッセージが表示されます。値を再入力してからインストールを開始してください。



*キャンセル*ボタンをクリックすると、実行中のステップが完了し、ロールバック操作が開始されます。SnapCenter Serverはホストから完全に削除されます。

ただし、「SnapCenter Server サイトの再起動」または「SnapCenter Server の起動を待機中」の操作の実行中に [キャンセル] をクリックすると、操作はキャンセルされずにインストールが続行されます。

ログ ファイルは常にadminユーザの%temp% フォルダに（古い順に）表示されます。ログの場所をリダイレクトする場合は、次のコマンドを実行して、コマンド プロンプトからSnapCenter Server のインストールを開始します。C:\installer_location\installer_name.exe /log"C:\\"

インストール中に Windows ホストで有効になる機能

SnapCenter Serverインストーラでのインストール中、WindowsホストでWindowsの機能とロールが有効になります。これらは、ホスト システムのトラブルシューティングと保守に役立つ可能性があります。

カテゴリ	特徴
Webサーバー	<ul style="list-style-type: none"> • インターネット インフォメーション サービス • World Wide Webサービス • HTTP共通機能 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 既定のドキュメント ◦ ディレクトリの参照 ◦ HTTPエラー ◦ HTTPリダイレクション ◦ 静的なコンテンツ ◦ WebDAV発行 • 状態と診断 <ul style="list-style-type: none"> ◦ カスタム ログ ◦ HTTPログ ◦ ログ ツール ◦ 要求監視 ◦ トレース • パフォーマンス機能 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 静的なコンテンツの圧縮 • セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ◦ IPセキュリティ ◦ 基本認証 ◦ 一元的なSSL証明書のサポート ◦ クライアント証明書マッピング認証 ◦ IIS クライアント証明書マッピング認証 ◦ IPおよびドメインの制限 ◦ 要求フィルター ◦ URL承認 ◦ Windows認証 • アプリケーション開発機能 <ul style="list-style-type: none"> ◦ .NET拡張機能4.5 ◦ アプリケーションの初期化 ◦ ASP.NET Core ランタイム 8.0.12 (およびそれ以降のすべての 8.0.x パッチ) ホスティング バンドル ◦ サーバー側インクルード ◦ WebSocketプロトコル
4	管理ツール

カテゴリ	特徴
IIS管理スクリプトおよびツール	<ul style="list-style-type: none"> IIS管理サービス Web管理ツール
.NET Framework 8.0.12 の機能	<ul style="list-style-type: none"> ASP.NET Core ランタイム 8.0.12 (およびそれ以降のすべての 8.0.x パッチ) ホスティング バンドル Windows Communication Foundation (WCF) HTTP Activation45 <ul style="list-style-type: none"> TCPアクティブ化 HTTPアクティブ化
Windowsプロセス アクティブ化サービス	プロセス モデル
構成API	All

LinuxホストへのSnapCenter Serverのインストール

SnapCenter Serverインストーラの実行ファイルを使用して、SnapCenter Serverをインストールできます。

開始する前に

- SnapCenterをインストールするための十分な権限がないroot以外のユーザを使用してSnapCenter Serverをインストールする場合は、NetAppサポートサイトからsudoersチェックサム ファイルを入手します。Linuxのバージョンに基づいて適切なチェックサム ファイルを使用する必要があります。
- SUSE Linuxでsudoパッケージを使用できない場合は、認証の失敗を回避するためにsudoパッケージをインストールします。
- SUSE Linuxの場合は、インストールの失敗を回避するためにホスト名を設定します。
- 次のコマンドを実行して、Linuxのセキュアステータスを確認します。 `sestatus`。 SELinuxステータスが「有効」で、現在のモードが「強制」の場合は、次の操作を実行します。
 - 次のコマンドを実行します。 `sudo semanage port -a -t http_port_t -p tcp <WEBAPP_EXTERNAL_PORT_>`
 - _WEBAPP_EXTERNAL_PORT_のデフォルト値は8146です。
 - ファイアウォールがポートをブロックしている場合は、`sudo firewall-cmd --add-port <WEBAPP_EXTERNAL_PORT_>/tcp`
 - _WEBAPP_EXTERNAL_PORT_のデフォルト値は8146です。
 - 読み取りおよび書き込み権限があるディレクトリから、次のコマンドを実行します。
 - `sudo ausearch -c 'nginx' --raw | audit2allow -M my-nginx`

コマンドから「nothing to do」が返された場合は、SnapCenter Serverのインストール後にコマンドを再実行します。

- コマンドによって *my-nginx.pp* が作成された場合は、次のコマンドを実行してポリシー パッケージをアクティブにします。 `sudo semodule -i my-nginx.pp`
- MySQL PID ディレクトリに使用されるパスは `/var/opt/mysqld` です。次のコマンドを実行して、MySQLインストールの権限を設定します。
 - `mkdir /var/opt/mysqld`
 - `sudo semanage fcontext -a -t mysqld_var_run_t "/var/opt/mysqld(/.*)?"`
 - `sudo restorecon -Rv /var/opt/mysqld`
- MySQL データ ディレクトリに使用されるパスは、`/INSTALL_DIR/NetApp/snapcenter/SnapManagerWeb/Repository/MySQL/` です。次のコマンドを実行して、MySQL データ ディレクトリの権限を設定します。
 - `mkdir -p /INSTALL_DIR/NetApp/snapcenter/SnapManagerWeb/Repository/MySQL`
 - `sudo semanage fcontext -a -t mysqld_db_t "/INSTALL_DIR/NetApp/snapcenter/SnapManagerWeb/Repository/MySQL(/.*)?"`
 - `sudo restorecon -Rv /INSTALL_DIR/NetApp/snapcenter/SnapManagerWeb/Repository/MySQL`

タスク概要

- SnapCenter ServerをLinuxホストにインストールすると、MySQL、RabbitMQ、Errlangなどのサードパーティ サービスがインストールされます。これらはアンインストールしないでください。
- LinuxホストにインストールされているSnapCenter Serverは、以下をサポートしていません。
 - 高可用性
 - Windows プラグイン
 - Active Directory (ローカル ユーザ[クレデンシャルを持つrootユーザおよびroot以外のユーザ]のみをサポート)
 - SnapCenterへのログインに使用するキーベースの認証
- .NET ランタイムのインストール中に、*libicu* ライブラリの依存関係を解決できない場合は、次のコマンドを実行して *libicu* をインストールします。 `yum install -y libicu`
- Perl が利用できないためにSnapCenter Server のインストールが失敗する場合は、次のコマンドを実行して *Perl* をインストールします。 `yum install -y perl`

手順

1. 以下からダウンロードしてください ["NetAppサポート サイト"](#) /home ディレクトリ へ。
 - SnapCenter Server インストール パッケージ - **snapshot-linux-server-(el8/el9/sles15).bin**
 - 公開鍵ファイル - **snapshot_public_key.pub**
 - それぞれの署名ファイル - **snapshot-linux-server-(el8/el9/sles15).bin.sig**
2. 署名ファイルを検証します。 `openssl dgst -sha256 -verify snapshot_public_key.pub -signature <path to signature file> <path to bin file>`
3. 非ルート ユーザーによるインストールの場合は、.bin インストーラーに付属する

snapcenter_server_checksum_(el8/el9/sles15).txt に指定されている visudo コンテンツを追加します。

4. .bin インストーラーの実行権限を割り当てます。 chmod +x snapcenter-linux-server-(el8/el9/sles15).bin
5. いずれかの操作を実行して、SnapCenter Serverをインストールします。

実行する処理	操作
対話型インストール	<pre>./snapcenter-linux-server-(el8/el9/sles15).bin</pre> <p>次の情報を入力するように求められます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Linuxホスト外部のSnapCenter Serverにアクセスするために使用されるWebApp外部ポート。デフォルト値は8146です。• SnapCenter ServerをインストールするSnapCenter Serverユーザ。• パッケージがインストールされるインストールディレクトリ。

実行する処理	操作
非対話型インストール	<pre>sudo ./snapcenter-linux-server- (el8/el9/sles15).bin -i silent -DWEBAPP_EXTERNAL_PORT=<port> -DWEBAPP_INTERNAL_PORT=<port> -DSMCORE_PORT=<port> -DSCHEDULER_PORT=<port> -DSNAPCENTER_SERVER_USER=<user> -DUSER_INSTALL_DIR=<dir> -DINSTALL_LOG_NAME=<filename></pre> <p>例: sudo ./snapcenter_linux_server.bin -i silent -DWEBAPP_EXTERNAL_PORT=8146 -DSNAPCENTER_SERVER_USER=root -DUSER_INSTALL_DIR=/opt -DINSTALL_LOG_NAME=InstallerLog.log</p> <p>ログは <code>/var/opt/snapcenter/logs</code> に保存されます。</p> <p>SnapCenter Serverをインストールするために渡されるパラメータ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • DWEBAPP_EXTERNAL_PORT: Linux ホスト外部のSnapCenter Server にアクセスするために使用される Web アプリケーション外部ポート。デフォルト値は8146です。 • DWEBAPP_INTERNAL_PORT: Linux ホスト内のSnapCenter Server にアクセスするために使用される Web アプリケーションの内部ポート。デフォルト値は8147です。 • DSMCORE_PORT: smcore サービスが実行されている SMCore ポート。デフォルト値は8145です。 • DSCHEDULER_PORT: スケジューラ サービスが実行されているスケジューラ ポート。デフォルト値は8154です。 • DSNAPCENTER_SERVER_USER: SnapCenter Server をインストールするSnapCenter Server ユーザー。 <i>DSNAPCENTER_SERVER_USER</i> の場合、デフォルトはインストーラーを実行しているユーザーです。 • DUSER_INSTALL_DIR: パッケージがインストールされるインストール ディレクトリ。 <i>DUSER_INSTALL_DIR</i> の場合、デフォルトのインストール ディレクトリは <code>/opt</code> です。 • DINSTALL_LOG_NAME: インストール ログが保存されるログ ファイル名。これはオプション パラメータで、指定した場合はコンソールにログが表示されなくなります。このパラメータを指定しない場合は、ログがコンソールに表示され、デフォルトのログ ファイルにも保存されます。

次の手順

- SELinuxステータスが「有効」で、現在のモードが「強制」の場合、nginxサービスは起動に失敗します。SELinux: SELinuxステータスが「有効」で、現在のモードが「強制」であり、「開始する前に」セクションで説明したコマンドを実行した場合は、このパラメータを指定して値を1に割り当てる必要があります。デフォルト値は0です。
 - a. ホームディレクトリに移動します。
 - b. 次のコマンドを実行します。 journalctl -x|grepに割り当てる必要があります。デフォルト値は0です。
 - ausearch -c 'nginx' --raw | audit2allow -M my-nginx
 - semodule -i my-nginx.pp
 - c. WebApp内部ポート(8147)でリッスンできない場合は、次のコマンドを実行します。
 - DUPGRADE: デフォルト値は0です。SnapCenter Serverをアップグレードするには、このパラメータに0以外の任意の整数を指定します。
 - d. 走る setsebool -P httpd_can_network_connect on

インストール中にLinuxホストで有効になる機能

SnapCenter Serverは、ホストシステムのトラブルシューティングとメンテナンスに役立つ以下のソフトウェアパッケージをインストールします。

- Rabbitmq
- Erlang

SnapCenterを登録する

NetApp製品を初めて使用し、既存のNetAppアカウントを持っていない場合は、サポートを有効にするためにSnapCenterを登録する必要があります。

手順

1. SnapCenterをインストールした後、*ヘルプ>バージョン情報*に移動します。
2. [SnapCenterについて]ダイアログボックスで、971で始まる20桁の番号であるSnapCenterインスタンスをメモします。
3. クリック <https://register.netapp.com>。
4. 私はNetAppの登録顧客ではありませんをクリックします。
5. ご自身の情報を指定して、登録します。
6. [NetApp Reference SN]フィールドは空白のままにします。
7. 製品ライドロップダウンから* SnapCenter*を選択します。
8. 課金プロバイダを選択します。
9. 20桁のSnapCenterインスタンスIDを入力します。
10. *送信*をクリックします。

RBAC許可を使用したSnapCenterへのログイン

SnapCenterでは、ロールベースアクセス制御(RBAC)がサポートされています。SnapCenter管理者は、SnapCenter RBACを使用して、ロールとリソースをワーク

グループ / Active Directory内のユーザまたはActive Directory内のグループに割り当てます。RBACユーザは、割り当てられたロールを使用してSnapCenterにログインできるようになりました。

開始する前に

- Windowsサーバ マネージャでWindowsプロセス アクティブ化サービス (WAS) を有効にする必要があります。
- Internet Explorerをブラウザとして使用してSnapCenter Serverにログインする場合は、Internet Explorerの保護モードが無効になっていることを確認する必要があります。
- SnapCenter ServerがLinuxホストにインストールされている場合は、SnapCenter Serverのインストールに使用したユーザ アカウントを使用してログインする必要があります。

このタスクについて

インストール時には、SnapCenter Serverのインストール ウィザードによってショートカットが作成され、SnapCenterがインストールされているホストのデスクトップと[スタート]メニューに配置されます。また、インストールが終了すると、インストール ウィザードに、インストール時に指定した情報に基づいてSnapCenterのURLが表示されます。リモート システムからログインする場合は、このURLをコピーして使用できます。

 Webブラウザで複数のタブを開いている場合は、SnapCenterのブラウザ タブだけを閉じてもSnapCenterからはログアウトされません。SnapCenterとの接続を終了するには、[サインアウト] ボタンをクリックするか、Web ブラウザ全体を閉じて、SnapCenterからログアウトする必要があります。

ベスト プラクティス: セキュリティ上の理由から、ブラウザでSnapCenter のパスワードを保存しないようにすることをお勧めします。

デフォルトの GUI URL は、SnapCenter Server がインストールされているサーバーのデフォルト ポート 8146 への安全な接続です (<https://server:8146>)。SnapCenterのインストール時に別のサーバ ポートを指定した場合は、そのポートが代わりに使用されます。

高可用性 (HA) 展開の場合、仮想クラスター IP https://Virtual_Cluster_IP_or_FQDN:8146 を使用してSnapCenterにアクセスする必要があります。Internet Explorer (IE) で https://Virtual_Cluster_IP_or_FQDN:8146 に移動してもSnapCenter UI が表示されない場合は、各プラグインホストの IE で仮想クラスタの IP アドレスまたは FQDN を信頼済みサイトとして追加するか、各プラグインホストで IE セキュリティ強化を無効にする必要があります。詳細については、以下を参照してください。["ネットワーク外からクラスタIPアドレスにアクセスできない"](#)。

SnapCenter GUIに加えて、PowerShellコマンドレットを使用してスクリプトを作成し、設定、バックアップ、リストアの各処理を実行できます。一部のコマンドレットは、SnapCenterの各リリースで変更されています。その ["SnapCenterソフトウェア コマンドレット リファレンス ガイド"](#) 詳細が記載されています。

 SnapCenterへの初回ログイン時は、インストール プロセスで指定したクレデンシャルを使用してログインする必要があります。

手順

- ローカル ホストのデスクトップに表示されたショートカット、インストールの終了時に表示されたURL、

またはSnapCenter管理者から受け取ったURLを使用して、SnapCenterを起動します。

2. ユーザ クレデンシャルを入力します。

指定する項目	使用する形式
ドメイン管理者	<ul style="list-style-type: none">NetBIOS\UserNameUserName@UPN suffix例：username@netapp.comDomain FQDN\UserName
ローカル管理者	UserName

3. 複数のロールが割り当てられている場合は、このログイン セッションで使用するロールを[ロール]ボックスから選択します。

ログインすると、SnapCenterの右上に現在のユーザとそのロールが表示されます。

結果

[Dashboard]ページが表示されます。

サイトにアクセスできないというエラーでログ記録が失敗した場合は、SSL 証明書をSnapCenterにマップする必要があります。 ["詳細情報"](#)

終わったら

SnapCenter Serverに初めてRBACユーザとしてログインしたら、リソース リストを更新します。

SnapCenterでサポート対象にする信頼されないActive Directory ドメインがある場合は、信頼されないドメインのユーザにロールを設定する前に、それらのドメインをSnapCenterに登録する必要があります。 ["詳細情報"](#)

Linux ホスト上で実行されているSnapCenterにプラグイン ホストを追加する場合は、*/opt/NetApp/snapcenter/SnapManagerWeb/Repository* の場所からチェックサム ファイルを取得する必要があります。

6.0リリース以降では、デスクトップにSnapCenter PowerShellのショートカットが作成されます。ショートカットを使用すると、SnapCenter PowerShellコマンドレットに直接アクセスできます。

多要素認証（MFA）を使用したSnapCenterへのログイン

SnapCenter Serverは、Active Directoryに含まれているドメイン アカウントのMFAをサポートしています。

開始する前に

MFAを有効にしておく必要があります。MFAを有効にする方法については、以下を参照してください。 ["多要素認証を有効にする"](#)

このタスクについて

- FQDNのみがサポートされます。
- ワークグループ ユーザとクロスドメイン ユーザは、MFAを使用したログインはできません。

手順

1. ローカル ホストのデスクトップに表示されたショートカット、インストールの終了時に表示されたURL、またはSnapCenter管理者から受け取ったURLを使用して、SnapCenterを起動します。
2. AD FSのログイン ページで、ユーザ名とパスワードを入力します。

AD FSのページに、ユーザ名またはパスワードが無効だというエラー メッセージが表示された場合は、次の点を確認してください。

- 有効なユーザ名とパスワードであるかどうか

ユーザ アカウントがActive Directory (AD) に存在している必要があります。

- ADで設定された最大試行回数を超えていないかどうか
- ADとAD FSが稼働中かどうか

SnapCenterのデフォルトのGUIセッション タイムアウトの変更

SnapCenter GUIのセッション タイムアウト時間を、デフォルトのタイムアウト時間である20分から変更できます。

セキュリティ機能として、デフォルトでは、操作を行わないまま15分が経過すると、5分後にSnapCenter のGUIセッションからログアウトすることを示す警告が表示されます。また、操作を行わないまま20分が経過すると、SnapCenterのGUIセッションからログアウトされ、再度ログインが必要になります。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、[設定] > [グローバル設定] をクリックします。
2. [グローバル設定] ページで、[構成設定] をクリックします。
3. [セッション タイムアウト] フィールドに新しいセッション タイムアウトを分単位で入力し、[保存] をクリックします。

SSL 3.0の無効化によるSnapCenter Webサーバの保護

SnapCenter WebサーバでSecure Socket Layer (SSL) 3.0プロトコルが有効になっている場合は、セキュリティ上の理由からMicrosoft IISで無効にする必要があります。

SSL 3.0プロトコルには欠陥があり、攻撃者が悪用して接続エラーを引き起こしたり、中間者攻撃を実行したり、Webサイトと訪問者の間の暗号化トラフィックを監視したりすることができます。

手順

1. SnapCenter Web サーバー ホストでレジストリ エディターを起動するには、[スタート] > [実行] をクリックし、「regedit」と入力します。
2. レジストリ エディタで、HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\SecurityProviders\SCHANNEL\Protoc

ols\SSL 3.0\に移動します。

◦ サーバー キーがすでに存在する場合:

- i. 有効な DWORD を選択し、[編集] > [変更] をクリックします。
- ii. 値を 0 に変更し、[OK] をクリックします。

◦ サーバーキーが存在しない場合は:

- i. 編集 > 新規 > キー をクリックし、キーに Server という名前を付けます。
- ii. 新しいサーバー キーを選択した状態で、[編集] > [新規] > [DWORD] をクリックします。
- iii. 新しいDWORDに「Enabled」という名前を付け、値として「0」を入力します。

3. レジストリ エディタを閉じます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。